

| 水道施設の耐震化状況および耐震診断結果(H23. 3現在)

(基幹管路)^{※1}

	管路全体	耐震管	DIP管K型継手のうち耐震性能を満たす管 ^{※2}	耐震適合性がある管路
管路の延長	81.5km	3.8km	25.7km	29.5km
割合	100%	5%	32%	36%

※1 基幹管路: 配水本管(口径300以上の管)および導水管、送水管

※2 DIP管K型継手のうち耐震性能を満たす管: DIP管(ダクタイル鋳鉄管)K型継手は良い地盤では耐震性能がある管とされており、布設されている地盤による検証を行い、耐震適合性のある管としている。

(浄水場・配水場)

		耐震診断結果	耐震化・更新計画年度
鵜ノ木浄水場	凝集沈殿池	対策必要	平成30年度
	急速ろ過池	対策必要	
	管理棟	対策必要	
堀兼浄水場	配水池 No.1	診断不要	対策不要
	配水池 No.2	診断不要	
	管理棟	診断不要	
柏原浄水場	着水井	対策必要	平成31年度 ~ 平成32年度
	酸化池	対策必要	
	ろ過機	対策必要	
	配水池	対策必要	
	ポンプ井	対策必要	
	調整池	対策必要	
	濃縮槽	対策不要	
管理棟	対策必要		
稻荷山配水場	低区配水池	対策必要	平成25年度 ~ 平成29年度
	高区配水池	対策必要	
	県水受水池	対策必要	
	電気ポンプ室	対策必要	
	自家発電室	診断不要	
水野配水場	配水池 No.1	診断不要	対策不要
	配水池 No.2	診断不要	
	管理棟	診断不要	
笹井配水場	配水池 No.1	対策必要	平成33年度
	配水池 No.2	対策必要	
	管理棟	診断不要	

※診断不要: 建設時の基準が、現在と同等の耐震強度であるため、診断が不要な施設